

資料 1

第2回検討委員会のまとめ

平成26年12月3日

【第2回委員会】

(1) エリア①（市民会館周辺エリア）について

<考え方について>

- 境港のまちづくりとして、基本目標に、魚と鬼太郎ということをやったがあるが、それに文化芸術を加えて、将来の都市像に、環日本海オアシス都市ということに、若い人も参加できるような、魅力的なまちにしていれば、人口も減らず、増えていくのではないかと思う。
- 市民の人たちがたくさん集まって来て、にぎわいのある場所になるような、こういう、人にやさしいまちづくりがあるが、そういう起点になるような建物が欲しい。
- 高齢者も幼い子どももみんなが会える場所にしていく。
- 防災イコール交流というものを芯にして考えたらどうかという気がする。
- 来やすいもの、見に行きやすいものが常時あるということであると、防災にも生きてくると思う。知っているところだと安心して行けるという気持ちがあると思う。
- 道の駅のような考え方をすると、市民だけではなくて、いろいろなところから人が来る。

<複合施設について>

- 一つのを多機能をつけて多用途に使っていくという考え方。
- 複合施設が良い。
- 様々な展示室や、図書館など、それらの相乗効果で人が集まって、境港市の顔としての機能を果たせるのではないかと思う。
- 図書館やホール、あるいは防災機能、避難機能も含む、そういうところがあった方が良い。それに加えて、会議室もである。
- ホール、防災拠点、そして、当然、図書館も、やはり、少なくともあった方が良いと思っている。その他、福祉施設など、そういう部分は、部屋をかなり造れると、いろいろ割り当てができて、その部屋も、例えば、楽屋にも使えたりなどということがある。
- ある施設はそのまま置いておいて、老人福祉センターの機能もあれば、集まって、皆さんで行う場所というものがあれば、一番、良いのではないかと思う。
- カフェだったり、いろいろな会の方たちが、その場にいろいろなものを持ち寄って市場が立つような場所であったりとか、そういう、本当に、にぎわいのある場所として、複合施設を考えていたら良い。
- 図書館と美術館など、これから国際交流を行っていく場所でも、また、大型客船が入港している点でも、防災機能を有した施設があった方が良い。
- 高層の建物であってその中にホールであり、図書館、美術館、そして、何よりも、防災センターが入り、備蓄ができるということが必要と思っているので、頑丈な建物を建てていただく。
- 全部、そういう施設を入れるための階のことは考えて欲しい

<防災拠点機能について>

- 防災拠点としての機能も併せ持った方が良い。

<ホールの規模について>

- 小さいものでも良いということになると、なかなか、しっかりしたものが呼べない。
- 1, 300人位のホールでも良いと思うが、今、徐々に、人口が少なくなっていることから考えると、やはり、1, 300人位だと、少し多過ぎると思ったりもしている。
- 1, 000席位はあった方が良い。
- 800以上あれば良い。

<ホールは音楽専用施設か多目的施設か>

- 床下に備蓄、それから可動式のものにすればそこで避難場所にもなり、いろいろな、例えば、音楽だけでなく、そこで大規模の美術展も開催できる。
- 可動式では、音響が非常に落ちるので、その辺りはどうかと、常々、思っているのだが、ただし、額から言って、とんでもない額なので、そのあたりがどうかという感じは非常に持っている。

<図書館機能について>

- 体験をしたり、あるいは、文化活動を企画していく、そして、それが、市民の人たちが本当に楽しんで、小さい子どもから高齢者まで楽しめるような場所、いつもそこに誰か集っている、そういう場所にできたら良い。
- 児童図書館。
- 視聴できるオーディオルーム。

<商業施設機能について>

- 商業施設的というもので、採算にあうかということ、商業ベースでいくと、なかなか難しいのではないかと、現実的には思っている。

<市役所機能について>

- 市役所の市民に向けてのいろいろなサービスの機能もきちんとできるようなもの。

<駐車場機能について>

- 駐車場が大変狭くて、来た時にはいっぱいである。
- 屋上に駐車場を持つてくるとかいうことで、駐車場の確保もできる。
- 1階に持つて行く、建物自身を、全部、1階駐車場にしてしまう。
- 屋上ということだと、費用がかかるという話であったが、あの駐車場を広げようとするには、土地を借りるか、買うか、あとは、横の方に、デパートにあるような棟を建てるかどうかという位しか、増やそうとしたら他に無いと思う。駐車場は、結構遠くに離れていると、それはそれで使いにくいというような話も出る。
- 常時集まるのが半分の400台、その他については、市役所が活用しているように、周りの空き地、それから、職員が置いている駐車場等々で良い。

<公園機能について>

- 公園も見直してみる必要がある。
- 場所を替えるなど、何かの方法がないかと思っている。
- 公園が憩いの場であり、楽しい、明るい、市民が集える場という考え方にもなる。
- 中央公園は残していただいて、新しい施設ができればと思う。

(2) エリア②(竜ヶ山周辺エリア)について

<考え方について>

- 健康シティとしてにぎわいを見せる場所になったらいい。

<防災機能について>

- 備蓄施設も必要ではないかと思う。

<体育館について>

- 体育館などがあれば、いろいろなことに使えるというように思っている。
- 体育館等々があれば、住民の皆さんがそこで一緒になってスポーツができる、自衛隊の方々もその中に入って住民と一緒に利用できる。
- 屋根の付いたところを造っていただきたい。
- 体育館を兼ねた防災倉庫が必要ではないかと思う。
- 通常は、少年や年輩の方が使えるような体育館として、そして、何かあった時には避難所として使える、それから、あわせて、備蓄倉庫が何らかのかたちで必要ではないかと思う。
- 通常は体育館で使って良いのだが、やはり、災害時等々あった時に、物資がヘリコプター等々で降りやすいところだと思うので、そこに、通常の物資は防災倉庫で間に合えばそれで良いのだが、緊急の場合は、そういう部分もあると、そこに貯めておくこともできるということで、竜ヶ山の方に体育館というのは、必要な施設ではないかと思う。
- 市の分庁舎みたいなかたちで、防災センターのようなもの。
- 防災センターを室内競技ができるようなものにもする。

<合宿機能について>

- 合宿して、さらに上を目指すような選手が出るような施設ができたらというように思っている。
- いざというときには、多機能でも出来るという意味合いの合宿機能。

<散策機能について>

- ウォーキングコースが、その辺りにできると良い。

市民会館周辺エリアに関する議論

- ①市民の人たちがたくさん集まって来て、にぎわいのある場所
- ②複合施設として整備（ホール・図書館・会議室・防災避難機能・福祉・市役所一部機能）
- ③駐車場の確保（必要確保数、周辺施設の駐車場等との連携）

竜ヶ山周辺エリアに関する議論

- ①防災面において、備蓄機能が重要
- ②体育館施設の整備により、健康と交流の促進につながる
- ③体育館または屋根付き広場等の整備で災害時には防災拠点としての役割
- ④合宿所機能や散策ウォーキングルートの整備